

今回は川北の武家地の変遷についてお尋ねしますのでお答え下さい。

1. 右の絵図を見ても分るように、武家地は城郭内と郭の外辺から〇〇一帯に広がりを見せている。〇〇に入る言葉を、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 西部 ② 東部
③ 北部 ④ 南部

2. 武家地のことを別名何と呼ばれていたか、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 御城
② 屋敷
③ 公儀屋敷
④ 御屋敷

3. 元和3年(1617)に入封した松本城主は、武家地の拡張

をした。安原横町の西側に武家地(御徒士町：おかちまち)を建設して移住をすすめた(絵図の3番の町である)。この城主は、次のうち誰にあたるか一つ選びなさい。

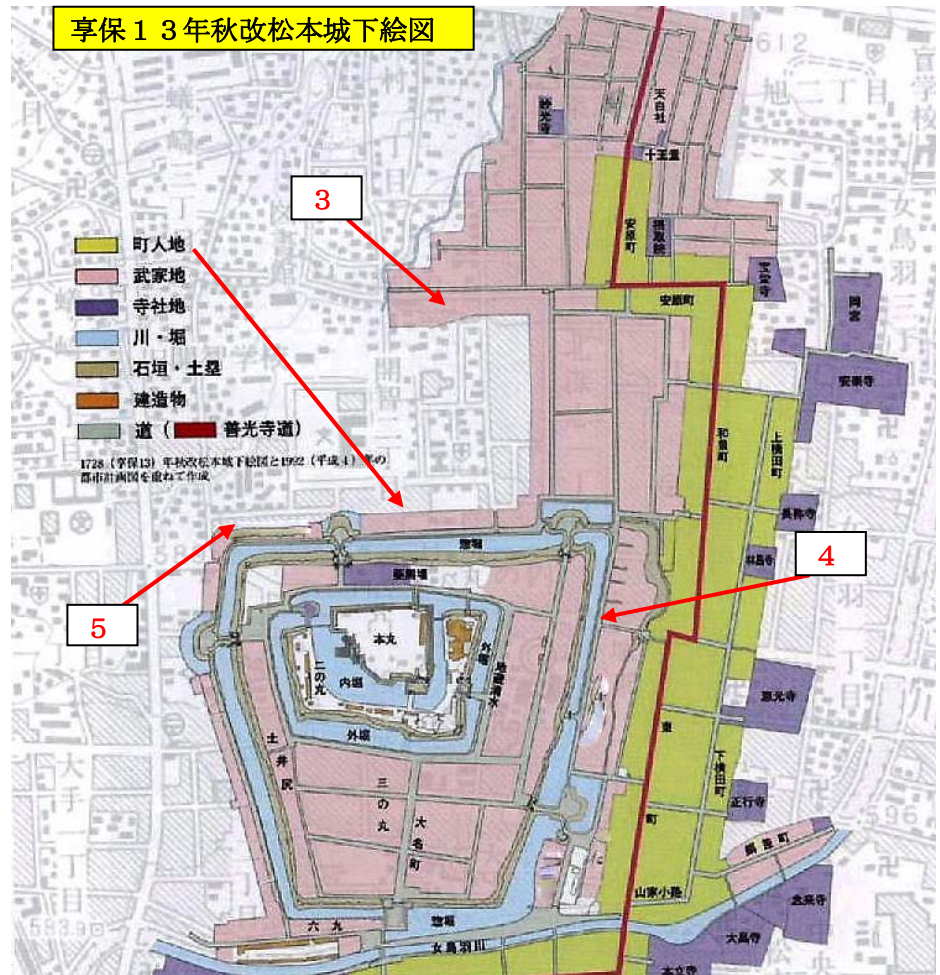
- ① 松平直政 ② 戸田康長 ③ 小笠原秀政 ④ 堀田正盛

4. 「・・・今ノ新町〇〇〇土屋敷(さむらいやしき)ヲ建ル、田町東ヶ輪(東側)に与力同心屋敷ヲ建ル・・・」 「大守累年記」(川辺家文書)とある。この時の城主は、松平直政である。〇〇〇はどこの町か(絵図の4番の町)、次の中から一つ選びなさい。

- ① 片端町 ② 上土町 ③ 袋町 ④ 西堀町

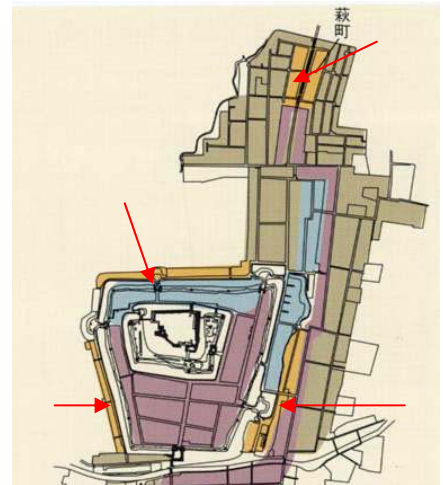
5. 「・・・西堀町御歩町北馬場出来ル西二小河町出来ル・・・」 「大守累年記」(川辺家文書)とある。さて、この小河町は、後に何と言う町に変わったか、次のうちから一つ選びなさい。(絵図の5番の町)

- ① 地藏清水 ② 田町 ③ 捨堀町 ④ 鷹匠町



6. その後、萩町、上土、出居番等の町（赤の矢印の町）に武家屋敷を建てたり、整備してほぼ城下町が出来上がった。この時の城主は何家の代か、次の中から一つ選びなさい。

- ① 前戸田時代
- ② 水野氏時代
- ③ 堀田氏時代
- ④ 後戸田氏時代



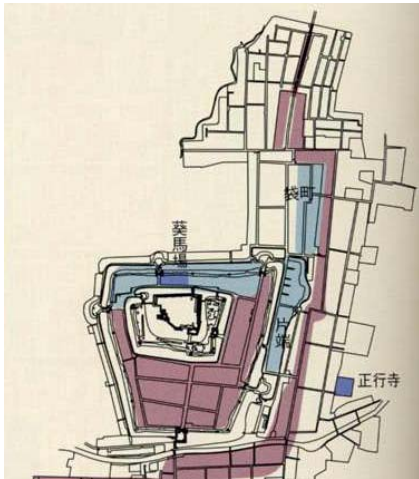
7. 「旧松本市史」によると、萩町の屋敷は両側とも街道より2間ほどさがって建てられ、萩垣を造って街道と区画したので萩町となったと説明している。「信府統記」では、城主水野忠直の時に、萩垣に代わって〇にしたと記している。さて何に代わったのか、一つ選びなさい。

- ① 土堀
- ② 生垣
- ③ 築地堀
- ④ 堀

8. 享保10年（1725）水野氏改易（かいえき）の頃、城内（郭内）侍屋敷数は98軒、城外（郭外）侍屋敷数はどのくらいあったでしょうか。次の中から一つ選びなさい。

- ① 400軒
- ② 550軒
- ③ 660軒
- ④ 800軒

9. 城外（郭外）で比較的上級の武士80石から200石の禄高（ろくだか：報酬）がいた侍屋敷はどこか、次のうちから一つ選びなさい。



- ① 片端町
- ② 上土
- ③ 北馬場
- ④ 袋町

10. 城外（郭外）で、次の4町のうち中級武士がいなかったのはどこの町にあたるか、一つ選びなさい。

- ① 口張町
- ② 新町
- ③ 田町
- ④ 六九町

氏名		採点	
----	--	----	--